

KDDI 総研 R&A 誌は定期購読（年間 29,988 円）がお得です。お申し込みは、KDDI 総研ブックオンデマンドサービスまで。既刊の PDF 無料ダウンロードの特典もあります。

(<http://www.bookpark.ne.jp/kddi/>)

固定電話代替を狙う
O2 Germany のサービスについて



固定電話代替を狙うO2 Germanyのサービスについて

🕒 記事のポイント

サマリー

ドイツ携帯電話事業者第4位のO2 Germanyは、自宅や職場などのHomeZone内での携帯電話発着信料金を固定電話並の低価格としたサービス “ Genion ” を提供している。このO2 Germanyは、自宅などで無線LANの接続が可能な小型装置によるインターネット接続サービスを今秋以降にも予定し、Genionとの組み合わせによってユーザの固定電話からの乗り換えを狙っている。これらのサービスやO2 Germanyの特徴などを報告する。

主な登場者 O2 Germany

キーワード モバイル Genion surf@home HomeZone UMTS GPRS

地域 ドイツ

執筆者 KDDI総研 調査2部 木村寛明 (ha-kimura@kddi.com)

1 着信も固定電話を意識したGenionサービスの特徴

O2 GermanyのGenionサービスとは、HomeZone[☞]([脚注](#))内からの携帯電話通話料を固定電話発の通話料と同程度とした携帯電話サービスである。ユーザがHomeZone外で通話した場合には、通常の携帯電話の通話料が課金される仕組みになっている。

上述のサービス内容は、GenionユーザがHomeZone内で発信する際に得られるメリットであるが、Genionユーザへ電話をかける発信者にとってもメリットを享受できる仕組みがある。それは、次のような内容である。



[☞](脚注) HomeZone

半径数百m程度の領域。Genionユーザは主に自宅や職場周辺を指定する。

固定電話代替を狙う
O2 Germany のサービスについて

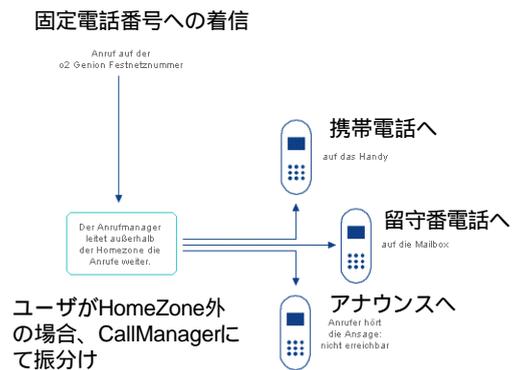
Genionサービスに加入すると、携帯電話用の番号の他に、指定したHomeZone内の市内電話の局番を持った固定電話用番号も同時に持つことができる^①（脚注1）。

GenionユーザがHomeZone内にいるときに、そのユーザに付与された固定電話番号に電話をかけると、ユーザの携帯端末に着信するとともに、その発信者には固定電話着同等の通話料が適用される。つまり、発信者も固定電話向けに電話をしているのと同じ負担で済むことになる。また、GenionユーザがHomeZone外にいた場合に、固定電話番号に電話をかけたときは、次のような対応を設定することが可能となっている（【図表1】）。

- ・ 通信事業者側が準備している留守番電話サービスに着信
- ・ 携帯端末への転送
- ・ 電話に出られない旨のアナウンス

こうした、いわば仮想的な固定電話サービスを利用することにより、Genionユーザにとっては自宅や職場の固定電話解約が可能となる。

【図表1】 HomeZone外の対応



（O2 Germanyのホームページの資料に
KDDI総研にて注を加筆）

2 固定電話代替を意識したインターネット接続サービス

O2 Germanyは、パケット通信専用のPCカード型端末^②（脚注2）の提供を始めているが、さらに2004年秋以降に小型接続装置（【図表2】）を使ったインターネット接続サービス“surf@home”を予定している。これは、UMTS/GPRS網によりインターネット環境と接続し、家庭内では無線LANを利用して複数のPCやPDAと接続できるサービスである（【図表3】）。

^①（脚注1） ドイツの電話番号

ドイツは、日本と同様に携帯電話用と固定電話用の電話番号が最初の数桁の番号によって区別されている。例えば、携帯用としては0179-xxxxxxx、固定用としては089-xxxxxxxなどとなっている。

^②（脚注2） PCカード型端末

2004年4月より提供されているUMTS/GPRS網を利用したパケット通信専用サービスを利用する。コネクションマネージャーと呼ばれるソフトウェアを利用することにより、UMTS/GPRS/ホットスポット（無線LAN）のいずれか、最適な通信環境での接続が可能となっている。

固定電話代替を狙う
O2 Germany のサービスについて

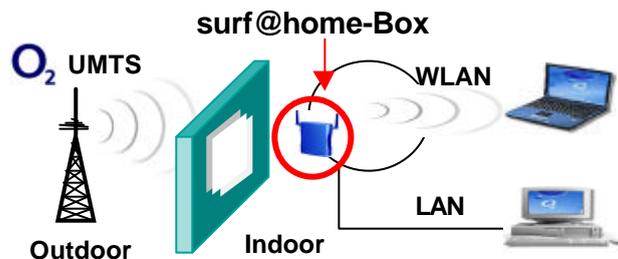
surf@homeは、インターネットとの接続用のために固定電話を解約できずにいるGenionユーザーに伝えるために提供されるサービスの位置付けであり、O2 Germanyはより多くの固定電話からの乗り換えを期待している。ただし、通信最高速度は384kbpsであり、ADSLに比べると遅い^①(脚注)。現在のところ、インターネットのヘビーユーザーではなく、利用頻度の低い顧客層を新サービスのターゲットにしているという。小型接続装置の価格は、100ユーロ(約13,400円)^②(換算率)前後が想定され、surf@homeの接続料はADSL並の料金が想定されている。

【図表2】 surf@homeの小型接続装置



(出典：O2 Germanyのホームページ)

【図表3】 surf@homeの接続概念図



(出典：O2 Germanyのホームページ)

3 固定電話代替を意識したO2 Germanyの特徴

Genionなどの固定電話代替を意識したサービスを展開しているO2 Germanyは、加入者関連の指標について上位3社と比べて明らかに異なる状況が発生している。

【図表4】は、ドイツ携帯電話事業者の最近1年間の四半期毎の加入者純増数と累積加入者におけるポストペイド加入者の割合を示しているが、O2 Germanyのポストペイド加入者の割合は60%弱で他社と比べて10%程度高くなっていることがわかる。ポストペイド型サービスであるGenionを主力サービスとし、その加入状況が比較的



① (脚注)

ドイツにおけるADSLの通信速度は768kbps～3Mbpsのサービスが中心。また、インターネットアクセスの約8割は、アナログモデムやISDNによるダイヤルアップ接続である。(出典：Regulatory Authority for Telecommunications and Posts, Annual Report 2003)

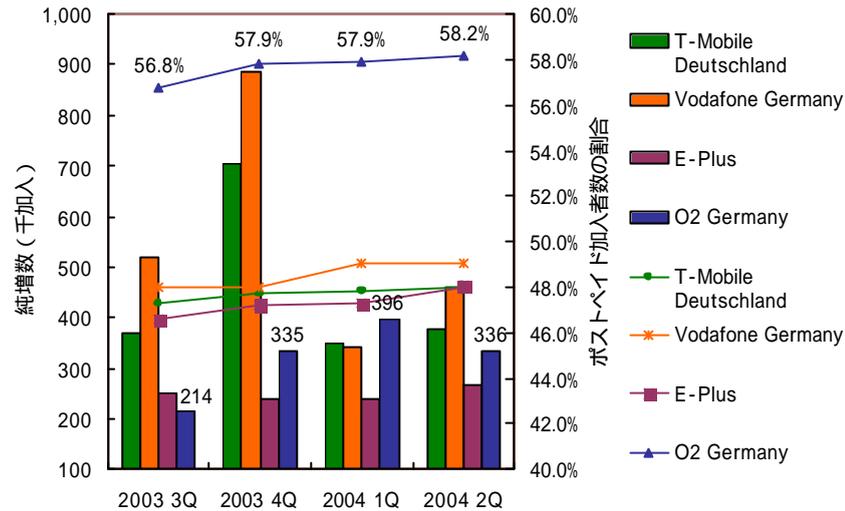
② (換算率)

1ユーロ = 134.01円 (2004年8月2日東京市場TTMレート)

固定電話代替を狙う
O2 Germany のサービスについて

堅調に推移していることが、高割合を維持している理由の一つとして挙げられるだろう。また、O2 Germanyは累積加入者のシェアでは4位だが、純増数では最下位を脱しつつある。

【図表4】ドイツ携帯電話の加入者純増数とポストペイド加入者数の割合



図表注：純増数はポストペイド加入者とプリペイド加入者を合算した値。

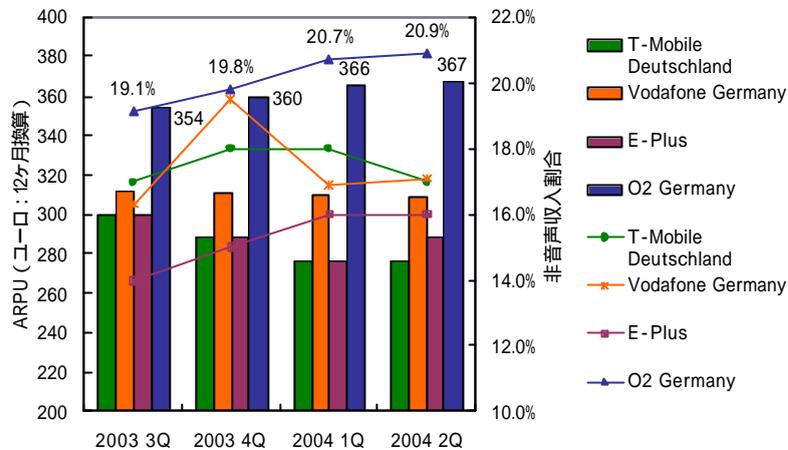
ポストペイド加入者数の割合は加入者全体におけるポストペイド加入者の割合。

(各種資料によりKDDI総研作成)

【図表5】は最近1年間の四半期毎の年間ARPUおよび非音声収入割合を示したものである。O2 GermanyのARPU(12ヶ月換算)が、他社と比べて50~60ユーロ(約6,700円~8,000円)程度高くなっている。月額基本料を支払うポストペイド加入者の割合が高いことが、その理由のひとつとして考えられる。また、O2 Germanyは、非音声による収入割合も他の事業者と比較して、高水準になっている。O2 Germanyとしては、この強みを活かして、surf@homeサービスをGenionユーザを中心に展開し、UMTSを活用した収入増加へとシフトしていきたいところであろう。

固定電話代替を狙う
O2 Germany のサービスについて

【図表5】ドイツ携帯電話のARPUと非音声収入の割合



図表注：ARPUはポストペイド加入者分とプリペイド加入者分を合算した値（12ヶ月換算）。
T-Mobile DeutschlandおよびE-PlusのARPUは月単位の発表数値を12倍して年換算している。
Vodafone Germanyの非音声収入割合は1ヶ月単位の値、他3社の数値は3ヶ月間の値。
T-Mobile DeutschlandおよびE-Plusの非音声収入割合はARPUに対する非音声の割合。
Vodafone Germanyの非音声収入割合は収入に対する非音声収入の割合。
O2 Germanyの非音声収入割合は収入に対するデータ収入の割合。

（各種資料によりKDDI総研作成）

執筆者コメント

Genionとsurf@homeを組み合わせ、固定電話の代替をアピールし、ユーザの固定解約を狙おうとするモデルはユニークである。surf@homeの最高通信速度は、電話回線を利用したADSLと比較して遅く、乗り換えユーザ獲得に対しての大きな弱みと考えられるが、インターネットアクセスの約8割がアナログモデムまたはISDNによるダイヤルアップ接続であるドイツのインターネット事情を考えると、料金設定によっては、意外と乗り換えユーザは多くなるのかもしれない。

出典・参考文献

O2 Germanyのホームページ（de.o2.com）

Deutsche Telekomのホームページ（www.dtag.de、www.t-mobile.de）

KPN、E-Plusのホームページ（www.kpn.com、www.eplus.de）

Vodafone、Vodafone Germanyのホームページ（www.vodafone.com、www.vodafone.de）